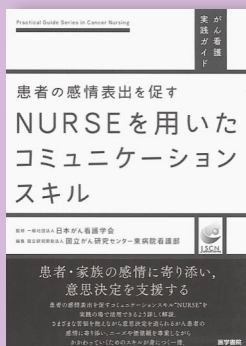


今月の 新刊紹介



患者の感情表出を促す NURSEを用いた コミュニケーションスキル

監修：日本がん看護学会
編集：国立がん研究センター東病院看護部
発行：医学書院
定価：本体 3000 円＋税

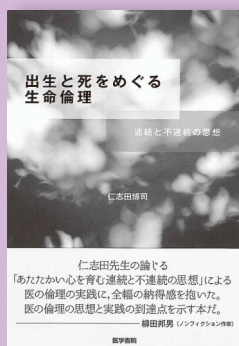
感情探索技法「NURSE」をベースにした、患者・家族とのコミュニケーション技法を解説したテキスト。具体的な場面を想定した事例集を個人学習に、具体的な研修方法の解説を研修企画・運営に活用できる。がん患者に対する全人的なケアが行える人材の育成に大いに役立つ 1 冊。



研究指導方法論 看護基礎・卒後・継続教育への適用

著：舟島なをみ
発行：医学書院
定価：本体 3700 円＋税

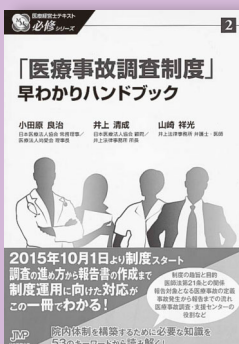
看護学研究の歴史から実際の研究プロセスにおける指導方法まで、著者が 20 年以上に渡り研究指導を行う中で培った「研究指導に関わる経験知」を体系的に示した書。日々進歩し続ける研究の指導には困難さを伴うことも多いが、研究指導の各段階を網羅的に解説した本書を活用してほしい。



出生と死をめぐる生命倫理 連続と不連続の思想

著：仁志田博司
発行：医学書院
定価：本体 2700 円＋税

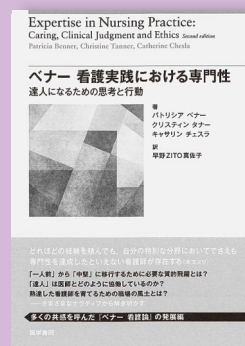
本書のキーワードである「あたたかい心を育む連続と不連続の思想」に至るまでの過程を、著者の経験の振り返りとともに鮮やかに描き出す。周産期という領域には、生命倫理に関する正解のない多くの問題が存在し、「医療における倫理とは何か」を強く問うのである。



「医療事故調査制度」 早わかりハンドブック

著：小田原良治／井上清成／山崎祥光
発行：日本医療企画
定価：本体 1500 円＋税

2015 年 10 月 1 日より開始された「医療事故調査制度」。その趣旨と目的の解説をはじめ、臨床の現場で何を行う必要があるのかを詳説したハンドブック。そうした業務の中に出てくる難解な法律用語についても解説が加えられており、この 1 冊で全てが分かる医療安全管理者必携の書。



ベナー 看護実践における専門性 達人になるための思考と行動

著：パトリシア・ベナー／クリスティン・タナー／キャサリン・チェスラ
訳：早野 ZITO 真佐子
発行：医学書院
定価：本体 5600 円＋税

その人を達人たらしめる実践的知識を、ナラティブから掘り起こした研究書。ベナー氏の代表的著作である『ベナー看護論—初心者から達人へ』で明らかにされた看護師のスキル獲得の 5 段階を踏まえ、看護師としての専門性の開発を効率的に促す組織開発や方略について探求している。



地域包括ケアと 地域医療連携

著：二木立
発行：勁草書房
定価：本体 2700 円＋税

著者が医療政策に関して執筆した全 26 論文を再構成し、現在の医療・社会保障政策の流れと今後の展望を俯瞰的に考察した論文集。医療政策の変遷を追いつけてきた著者だからこそ語れる政治や医療の舞台裏の分析的な視点は、これから地域包括ケアを円滑に機能させるために非常に重要である。